

磐城時報

編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 磐城 二四一
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一文字一ヶ月金拾圓
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 磐城 二四一
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一文字一ヶ月金拾圓

濱三郡木炭同業組合 縣へ移管の協議

けふ平町で評議員會 満場一致反對と決定

濱三郡木炭同業組合では十九日午後十時から平町事務所評議員會を開き昭和六年年度豫算について協議したが、之は左の如き理由で協議したが原案一萬八千七百七圓で前年度より二千九百圓の減であるが之は事業費、事務費を減じた結果である従来の木炭生産検査料は一俵につき二厘五毛であつたのを二厘に、移出検査料は一錢であつたのを八厘に値下げする件は評議員全部異議なく承認した、尙ほ問題となつてゐる木炭検査の縣移管について十二日出初式を行ふこと。

▲反對理由

一、縣移管になれば検査料が三錢程度に引上げらるゝ事
二、縣では濱三郡の検査員十名を五名内外に減する方針であるから不便である。

▲消防出初式

石城郡管内消防出初式は二十三日同原町旭座に開催。

▲消防講習會

縣警察部にては二月二十三日から三日間原町に於て消防講習會を開催する事となつた。

本年の酒消費高

前年より大激減

緊縮宣傳の結果と舊正月の關係

石城郡に於ける酒消費量については結果と本年一月は舊正月で平稅務署の調査した處によるに當らなかつたためであらうと一月中の新酒八十七石、昨年察してゐる。

▲普通農事講習

石城郡農會主催普通農事講習會は今日から二十八日まで左記要領で開設する講師は郡農會青山古酒千三百七十二石、三ヶ月間合計六千八百二十石で本年度は前年度に比べ千九百二十石の大減少を示してゐる。之は緊縮が宣傳る。

▲相馬中等卒業式

この三月卒業式を挙げる相馬郡内中等學校の日は相馬中等學校九日、相馬農藝學校及相馬高等女學校は十九日である。

シヤツと足袋を惠まれた この感謝の聲を聴け

救濟された貧困兒童の父兄から 續々と寄せらるゝ感謝狀

平鐵道俱樂部は既報の如く本年四月に舉行する慰安會の費用を節約して平小學の貧困兒童に金百圓を寄附した事既報の如くであるが、學務委員會を開いて協議した結果第一校三十名、第二校二十四名、第三校五十四名に對しシヤツ、タビを給與した父兄は非常に感謝し毎日の如く學校當局に感謝狀を寄せて來るが中には左の如き書狀などもあり僅かシヤツ一枚でかくの如く貧困者を喜ばせる事が出來たと町當局は勿論平鐵道俱樂部で満足である。

中の作漁港 獎勵金交附願

石城郡江名町大字中の作漁港に對しては六年度において工費豫算一萬二千三百四十三圓を以て防波堤七十八間を築造し漁船々溜たらしめたから漁業共同施設の獎勵を交附されたいと部落代表坂坂高藏、吉田傳松兩氏が家に居ますが食ひやうもないから十七日縣へ申請書を提出した。

小炭礦の 出炭制限案

常磐五大炭礦の聯合販賣機關である木曜會が常磐炭の單價維持のため小炭礦にも大炭礦並に出炭の制限を希望し一月から断行せんとして小炭礦經營者に渡りつけた問題は既報の如く石城の有煙側が大炭礦に賛意を表したに抱らず、茨城の有煙側が協定率に不服を唱へて出炭制限に反對的態度を示したため折角の小炭礦出炭制限は今日に至るも實現されないうちに置かれてゐるので、木曜會では問題は獨り大炭礦をして有利に導くこと言ふにあらず要は比較的經營難と語つて居た。

貸切りに乗つたつもの男 泥酔者を警察署に届ける手段

舊正月ナンセンス二件

石郡全般に亘り 農會廢止の氣運

明年度の豫算編成期にあつて石件について協議したところ猛烈な城郡地方の各町村のうちには不なる反對にあひその後引續き前編成期にあつて少なからず協議したるも依然然會議は喧嘩に終つてゐる、上野野村ではこの協議するに至らないので近く編成期から脱出するべく去月中旬最後の村會を召集する筈であるが、村會を召集するに原案が通過すれば各給は最高三十圓まで、教員俸給町村ともこれに慣らふものが續四十圓以上はその一割乃至一割出するものと見られてゐるので五分を村に寄附すること、の三成行は相當注目されてゐる。

元日詣り雑踏

舊正月元日二日の初詣で原町地方は賣却したので十八日朝吉を相手縣社太田神社に熱心の敬神者は取つて詐欺の告訴をなした。

修繕料無拂

根本氏が告訴

泥酔者を警察署に届ける手段

舊正月ナンセンス二件

貸切りに乗つたつもの男

泥酔者を警察署に届ける手段

石郡全般に亘り 農會廢止の氣運

明年度の豫算編成期にあつて石件について協議したところ猛烈な城郡地方の各町村のうちには不なる反對にあひその後引續き前編成期にあつて少なからず協議したるも依然然會議は喧嘩に終つてゐる、上野野村ではこの協議するに至らないので近く編成期から脱出するべく去月中旬最後の村會を召集する筈であるが、村會を召集するに原案が通過すれば各給は最高三十圓まで、教員俸給町村ともこれに慣らふものが續四十圓以上はその一割乃至一割出するものと見られてゐるので五分を村に寄附すること、の三成行は相當注目されてゐる。

元日詣り雑踏

舊正月元日二日の初詣で原町地方は賣却したので十八日朝吉を相手縣社太田神社に熱心の敬神者は取つて詐欺の告訴をなした。

お顔の クリーニング屋さん
 白色く
 ニキビ、ソバカスをとる
 新治療剤エスゾール
 キングの愛読者なら御存じてせうあの評判を不思議と思ふ程よくきく薬。

つげぬ三日前と三日後までさいびツクリするんだもの、十日も十五日もつけたらアラツ……人違へする位へは不思議でない。ごいふてそんなによくきく薬はきけんでないか心配する方があるでせうが、きけんだつたの、高かつたりしては何にもならない。
エスゾールは世界的の美顔料です。
 化粧水と同じ様に一日二度朝夕つけて預ければそれでよいのです。そしてお値段は約一ヶ月分僅か一圓です。
 製薬所は 三陽製薬株式会社
 販賣所は 各薬店
 講談社代理部
 品切の折は 福島縣久之濱町江之網
新妻治郎

洋式家具の大特賣
 店用椅子 〇六五
 テーブル 〇三三
 本結椅子 〇三三
 本結椅子 〇四〇
 立子 〇一五
 能率増進は洋家具の使用から
 〇期日 舊十二月二十一日ヨリ 一月五日マデ
 平町二丁目 長谷川椅子店

度量衡計量器
吸入酸素器
吸入酸素器
關内藥局
 電話四〇番

高級社員招聘
 縣下樞要地の監督所長に任用す
 ◎外務社員數名募集
 成績に依り最初より俸給手當並に交際費を支給し無経験者は見習員として便宜採用す
 入社希望の方は履歴書持参の上にて面談詳細を決定す
 平町字白銀町十番地
國光生命保險相互會社 平出張所
 電話六百五十五番

内科 小兒科 (入院應需)
 花柳病科
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話平園五〇七番

レコード破りの石炭大特賣
 磐城炭礦一二等炭
正味十貫匁一俵金卅錢也
 「品が良く」値は安く「モット」にする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します
 値が安くとも品は悪くはありません
 磐城炭礦の處分の大掘出物です、品物の無くならない中に御注文下さい
 配達は一俵より致します
 御注文は
電話三三七番へ
 平停車場前
阿部石炭商店

秘傳腫物湯
 のんで効く
 家の腫物湯
 主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●淋巴腺の腫れ●一●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前夜効一●等●よし
 ◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり
 定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
 特約店
 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
 平町三丁目 宇佐美藥店 植田町 松本藥店
 湯本町 岩瀬屋藥店 富岡町 莊野藥店
 腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂

耳鼻咽喉科
 平町仲田町七一
合津醫院
 電話五五九番

斷然賞讃を博しつゝある
 實用白毛染 **八雲** 一瓶二五錢
 一手販賣店 **山野邊藥局**

開店披露
 た待ち兼ねの天ぶら並びに
小料理 やを開きました
 仕出しは迅速に大勉強致します
 是非お試しにた出を願ひます
 二月九日 四丁目(平局前)
 よし傳
 電話(呼出)五二八番

電話増設
 今回店舗擴張のため氷部専用として左記電話を増設致しましたから何卒御利用下さい
電話四六七番
 氷部専用
 (鮮魚部は従來の六三三番)
 勿來製氷會社一手販賣
 ◎徳用タン
魚清氷卸部
 平町二丁目(警察署通り)

御地初御見
中村竹の子
中村竹右衛門
 外三十五名大一座
 當ル二月廿日午後五時より
 入場料 破格之 **金二十錢**
聚樂館

病室完備
 平町南町
光線科
上田外科醫院
 電話一二九番